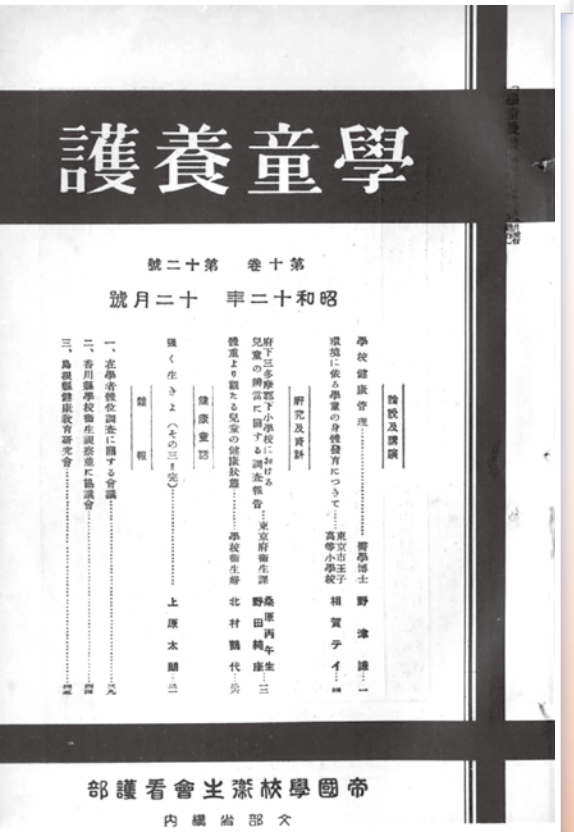
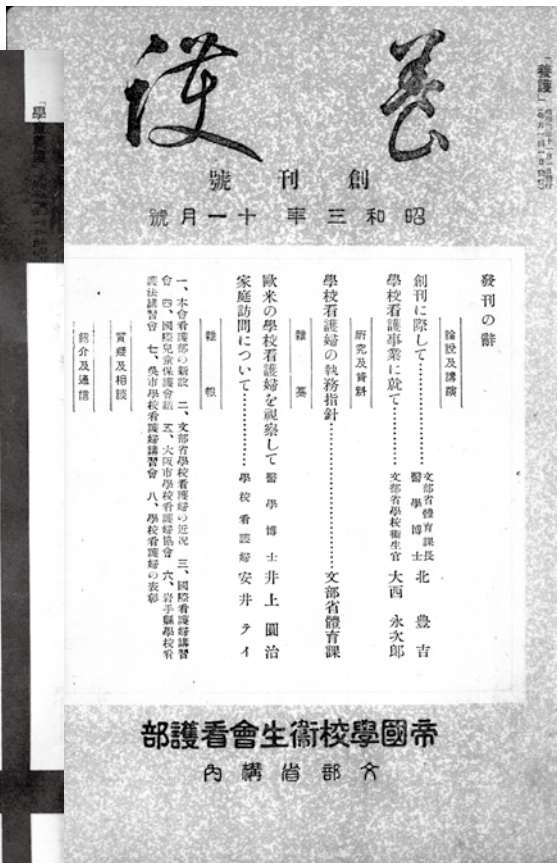
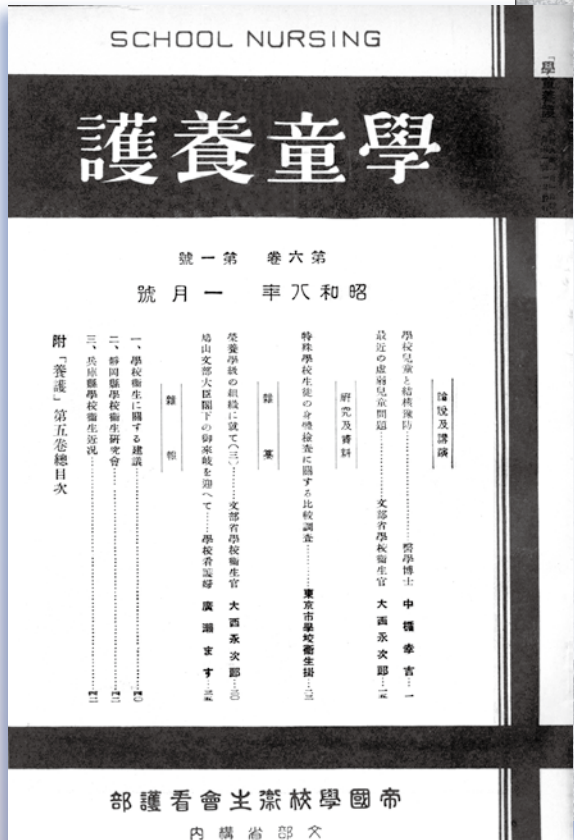


学校における 保健・衛生・施設・施策・制度
 子どもの 健康・身体・心
 〈養護教諭〉 看護・医療・福祉と〈教育〉

いま、喫緊の課題に大きな示唆が与えられる！

雑誌 『養護』 学童養護



昭和初年
 学校衛生の動向・実態を
 生き生きと伝え
 学校保健・養護教諭制度の
 成立と展開を知る
唯一の貴重な資料群

復刻版編集
 瀧澤利行・七木田文彦
 (茨城大学教授)
 (埼玉大学准教授)

* 肩書は本書発刊時

全巻揃 残部数組
 2025年4月

全9巻
 別巻1

【国内販売元】
 (専売)  パンセ
 学術図書販売(株)

【本書は、大空社が2014-15年に復刻刊行したものです】

原誌表紙(右上より)『養護』創刊号(昭和3年11月)
 『学童養護』6巻1号(改題第1号)昭和8年1月/10巻12号(終刊号)昭和12年12月
 (山形大学小白川図書館蔵)

復刻にあたって

明治38年（一九〇五）にわが国で初めて養護教諭の前身である学校看護婦がその仕事を開始して来年（二〇二五年）で一一〇年を迎える。今日、学校教育の中できわめて重要な役割を果たしている養護教諭が、臨時雇いの看護婦に始まって、現在のような専門性と豊かな実践を成し遂げつつある背景には、さまざまな苦難や葛藤と闘いながら、学校を、そして時代を生き抜いてきた学校看護婦の生の歴史がある。

公益財団法人日本学校保健会の前身である帝国学校衛生会が刊行した雑誌『養護』、そしてその後継誌である『学童養護』は昭和3年（一九二八）から昭和12年（一九三七）まで発刊されていた学校看護婦のための専門誌である。

大正9年（一九二〇）の帝国学校衛生会設立に伴い、昭和3年に同組織内に学校看護部が創設された。学校看護部の設置目的は、全国学校看護婦大会の開催と同部機関誌として雑誌『養護』を刊行することであった。

雑誌『養護』『学童養護』は、学校衛生の復興期とされる大正中期以降、日本における健康教育の興隆期である昭和10年代にかけて、学校看護婦やそれに関連する専門家たちが、日ごろの実践や学校衛生や健康教育についての論説を寄せた雑誌であり、それは学校保健史、教育史、医学史、公衆衛生史、看護史の重要史料として位置づけられる。そこには、戦前から戦中に至る学校衛生活動、特に学校看護婦（学校衛生婦）の教育的実践が取りあげられ、学校看護婦の実務、実践の真相、そして彼女たちの日々の努力が浮き彫りされており、日々の苦悩がそのままの言葉で表現されている。また、明治期以降、学校における非常勤職員であった学校看護婦が常勤の教育職員である養護訓導として誕生するに至る職制運動の歴史が表されている。

養護教諭の存在とその職務の重要性が強調される中で、関連諸学会において多くの研究が進められている現在、『養護』『学童養護』の復刻刊行は、同職の存在と職務の成立を見つめながらさらなる研究の発展を目指すための時宜を得た企画と考える。このたび、山形大学小白川図書館をはじめとして、関係諸団体等より、復刻について好意的なご協力をいただきながら原誌全10巻を刊行することが可能となった。

養護教諭養成機関はもとより、全国の教員養成系学部、看護大学、看護学部、さらには医学部等の基礎的史料として、またこの問題に関する研究者の座右に置かれて、緋かれ、過ぎし日の学校看護婦たちの声に耳をすませ、研究資料としてご活用いただきたい。

平成二六年（二〇一四）一月

編集

瀧澤利行
七木田文彦

* 推薦します

(二〇一四年)

多くの人々に活用されることを願う

東京大学名誉教授 衛藤 隆

戦前、現在の学校保健を学校衛生と称していた時代の論説や記録は意外と残っていないようである。学校において、学校看護婦という職種の人たちがどのような活動を展開し、どのようなことを感じ、考えていたのかを知る上で、また、学童の日々の生活においてどのような保健上の問題を生じていたのかを知る上でも、これらの雑誌は恰好の素材を提供してくれる。日本の近代から現代に通ずる社会分析を行うためにはこのような復刻事業は大変貴重である。復刻により、さらに多くの人々に活用されることを願っている。

「保健室からの教育史」を期待する

京都大学名誉教授

辻本雅史

「保健室登校」という語を聞いてから久しい。学校の息苦しさを象徴する言葉かもしれない。保健室には教室とは違った空気が流れている。そこから見れば、学校や子どもたちの風景は、教室や職員室から見るそれとは違って見えるだろう。教室は論理と言語の支配空間、そこに生身の身体が見当たらない。手習にしろ儒学教育にしろ、かつては生身の身体を通じた学びが、生きるための知を培ってきた。それを消してきたツケが、子どもたちの心身に黄信号を灯しているように見えてならない。

保健室の養護教諭は大正期に始まる「学校看護婦」に遡る。学校看護婦のための雑誌『養護』とその後継誌『学童養護』が復刻される。入手困難な同誌によって、「保健室からの教育史」研究の活性化を期待してやまない。子どもの心身の健康を切り口にした歴史研究は、従来の教育史像を塗り替え、教育史を確実に豊かにするだろう。

原誌

『養護』

第1～5巻・全50冊
昭和3年11月～7年12月

発行・帝国学校衛生会
(文部省構内)

『学童養護』

第6～10巻・全60冊
昭和8年1月～12年12月

学校衛生の復興期とされる

大正中期以降、昭和にかけての

学校衛生・教育・医学・公衆衛生・看護の実情を伝える

重要史料

戦中・戦後に接続する

養護教諭制度・学校保健制度の成立と展開を知る

唯一の貴重な資料群

* 概要と史料的价值

- ① 戦前から戦中に至る学校衛生活動の実態を伝える重要史料。
- ② 特に、学校看護婦(学校衛生婦)の実務、教育的実践の実相、彼女たちの日々の努力・苦悩のさまが如実に語られている。
- ③ 明治期以降、非常勤であった学校看護婦が常勤の教育職員・養護訓導として誕生するに至る格闘の歴史が現れている。
- ④ 文部省をはじめとする行政関係者が、全国の学校看護婦達をどのように啓発しようとしていたかを語る論文を多く収載する。
- ⑤ 医学研究者が、当時、先端とされる医学知識・治療法について論じている。
- ⑥ 学校看護婦の全国配置状況(統計)、各道府県を取り組み、養成や免許状取得方法、講習会情報、身分や待遇について等、情報交換の場であった。
- ⑦ 学校看護婦の活動が、学校のみに限らず地域に開かれた公衆衛生活動の実践的側面を持っていたことを示す記録である。
- ⑧ 学校給食や今日の特別支援教育の内容に通底するテーマを持つ論考が含まれる。

官(行政)と現場の指導者がこぞって執筆

学校看護婦
教職員
研究者
医師
官僚
行政職員
技師:

●執筆者抄)

- 有本邦太郎 竹村一
- 石田誠 竜山義亮
- 石原忍 千葉真一
- 伊藤実 塚田治作
- 井上円治 戸田正三
- 岩原拓 鳥居恵二
- 植村操 永井潜
- 及川周 中島実
- 大西永次郎 中村隆治
- 大平得三 野津謙
- 大森憲太 服部健三
- 岡田和一郎 春光サト子
- 岡田道一 広瀬ます
- 片瀬淡 藤巻良知
- 加用信憲 藤村トヨ
- 川島震一 藤原九十郎
- 北豊吉 星野鉄男
- 後藤良平 保良せき
- 近衛文磨 三宅鉦一
- 小林佐源治 村上賢三
- 齋藤一男 村山午朔
- 齋藤千栄治 安田守雄
- 坂原愛治 柳原輝子
- 佐藤正 山川建
- 下田吉人 吉田章信
- 上島三郎
- 高田重正

◆〈分野別〉収録論文・記事タイトル

*分類は仮のものです。配列は順不同(抄録)

〈養護・看護〉

学校養護の諸問題
養護とは何ぞや
学童養護上より観たる我が国民教育の欠陥と其の
対策

養護精神の徹底を望む
養護時間の特設について
学校養護と家庭養護に就て
上代に於ける看護のさまざま
聖職・学校看護婦に対する所感
学校看護婦の現在と将来
全国学校看護婦に関する調査

学校看護事業に就て
学校看護婦の職務指針
学校看護婦の養成について
学校看護婦の一日
学校看護婦の本領
学校看護婦として過去二十余年間の私の追懐
学校看護婦設置状況の調査
教育者としての学校看護婦
学校看護婦執務の理想
学校看護婦の設置と健康への教育
学校看護婦の身分執務其他に就て
学校看護婦の新使命
各地学校看護婦令の制定

衛生訓練と学校看護婦
学校衛生諸会議と学校看護
学校看護婦に関する訓令の発布に際して
学校看護と児童の個性
学校看護婦の職制制定について
欧米の学校看護婦を視察して
米国の於ける学校看護婦執務の状況について
英国に於ける学校看護婦の近況
満鉄に於ける学校診療と学校看護婦の執務状況
学校看護婦より家庭への希望
社会看護婦の養成
日赤社会看護婦の養成
訪問看護婦の仕事について

〈保健・衛生〉

学童保健の重要性並に之に対する教育者の責務
学童保健に対する世界的協力
学校衛生技師会議と学校看護
学校衛生の現在と将来
学校衛生より見たる児童の服装について
学校衛生の主要問題

教育としての学校衛生に就て
衛生思想の普及事業
保健施設としての学校浴
初等教育に於ける国民保健問題
生徒児童の衛生訓練
衛生訓練実施後の私の感想
我が校に於ける学校衛生施設の実際
新入学児童の衛生
春の児童衛生について
夏休と児童の衛生
女子の特別衛生
農村に於ける学校衛生施設
児童の精神衛生について
児童の生活より来る衛生上の欠陥とその予防
耳・眼の衛生
実績を挙げつゝある児童の口腔衛生について
除塵油塗布の実際
公衆衛生訪問婦に就て
鉄筋コンクリート校舎の衛生
家庭に於て注意すべき児童の衛生
本校の衛生行事月曆
臨海学校に於ける衛生訓練の一例
我が校に於ける教授衛生の諸問題
日本の文化を中心としての新学校衛生の建設を
提唱す

学校衛生表彰概況
フアリスト伊太利に於ける学校衛生の近況
中等学校の衛生施設に關し留意すべき事項
幼稚園の衛生施設に就て

(歯科)

学校看護婦と学校歯科
学校歯科衛生に就て
学校歯科衛生の訓練について
学校歯科医職務規程の制定に就て
学校歯科治療室より
学校医・学校歯科医並に学校衛生専務医設置の
近況調査
栄養と歯牙
衛生婦の立場より観たる学校歯科治療成績に就て
歯科衛生より見たる小学国語読本
ムシ歯より見たる體質
学童生徒児童最近十ヶ年累年齲齒比較調査
全国学校歯科医に関する調査
全国ムシ歯予防デー
愛児の歯を護れ

〈給食・栄養・食物〉

学校給食事業に就て
学校給食実施方法に就て
学校給食の教育的考察
学校給食施設に關する調査概報
学校給食の真目標
牛乳給食の成績に就て
学童の栄養問題より観たる学校給食について
学校給食の身体に及ぼしたる影響
子供の弁当と間食についての私見
児童弁当に關する研究
学童弁当の改善について
養護学級児童の弁当と其の対策
冷えた弁当は消化も悪く児童には絶対によくない
学童に栄養弁当を 標準弁当箱の検討
中小生と幼稚園児向五日間のお弁当の献立に
ついて

児童の食品嗜好に關する調査
食物の好嫌と偏食者の體質に關する研究
常識としての栄養
児童の偏食矯正について
農村児童と食物との關係
高原保養学園の食事について
自給自足を標榜する学校給食蔬菜園經營に關す
る調査
都市小学校の共同炊事
栄養給食の実施について
児童の栄養問題に關する考察
栄養学級の組織に就て
栄養と健康
我が国民の栄養改善は必須の重要事である
栄養と食物の知識
欠食児童問題に就て
英国に於ける学校給食令

〈健康・身体〉

健康の教育
健康とは何ぞや
学校健康管理
児童の身体検査に就いて
特殊学校生徒の身体検査に關する比較調査
身体検査の利用に就て
身体検査の教育的意義に就いて
健康教育を主とせる夏期学園に就て

国民心身鍛錬運動に就て
児童の健康増進と家庭
日本人の体格改善について
子供の体格と異常発育について
小学校児童体格の変遷に関する調査
小学校児童身体検査成績
小学校教員の健康に関する調査
中等学校生徒の健康に関する調査
青少年体位の推移に就いて
教員の健康状況に関する調査
児童の体重増加に関する調査
睡眠と健康

児童の睡眠について
小学校に於ける有熱児童の調査
我が校健康時間の紹介
体重より観たる児童の健康状態
児童養護の目的に服用せしめつゝある肝油につ
いて
小学校に於ける学童健康相談施設に就て
師範学校入学試験に於ける身体検査に就て
環境に依る学童の身体発育につきて
ターナー教授と米国の健康教育
米国に於ける児童健康施設の一例
我が校に於ける児童体温の調査成績に就て
小学校を中心とする公衆健康組織に関する提唱
女生徒の月経に関する調査
児童年齢・身長別各月体重測定記録
健康優良児に就いて
児童の口腔に就いて
児童体温の季節的変動に関する調査
学童の聴力測定便法につきて
弱視児童の養護に就て
光にあたれ日にあたれ
小学校児童の近視につきて
小学校児童の近視と体格及学業成績との関係
視力異常児童と学業成績
近視眼の保護につきて
私の試視力表

学齢児童と聴力障碍 其の学業成績に及ぼす影響
小学児童の偏平足調査
我々の生命につきて

(体育・スポーツ・運動)

体育運動に就て
体育運動による健康増進につきて
体育衛生の研究につきて
健康生活と体育運動
私の目標は児童体育の向上
欧米に於ける児童体育の特徴
学童の体育問題

女子体育の振興
女子の体育運動につきて
欧米に於ける女子スポーツ私見
小学校児童の運動に因る障碍に関する調査
運動選手の疾病に関する調査

(病氣・治療)

学校に於ける応急手当
小学校児童の外傷に関する研究
児童にあり勝な外傷の二三につきて
傷病児童取扱上の注意に就て
学校寄宿舎に發生せる伝染病に関する調査
学校伝染病に対し学校閉鎖は果して何時に行ふ
べきや
児童の結核予防を如何にすべきか
児童と結核
学校児童と結核予防
学校に於けるチフテリア流行の一例
「チフテリア」予防注射と「シックテスト」実
施成績
全国小学校教員在職中医療を受けたる傷病者の
病類別調査
全国師範学校本科生徒疾病に関する調査
小学校教員疾病療治料給与に関する調査
小学校職員児童死亡に関する調査
凍傷の処置につきて
児童の凍瘡に就て
小学校児童の甲狀腺腫に就て
人体寄生虫の駆除につきて
蛔虫の完全排除と駆虫薬服用回数につきて
寄生虫駆除と一般清潔検査
中等学校生徒寄生虫に関する調査
児童の腸寄生虫、特に蛔虫に関する調査
私の苦心に成る毛虱駆除剤の発見につきて
学童のトラホームと結膜炎の処置につきて
小学校児童トラホーム予防要項
最近二十五ヶ年学校トラホームの推移に就いて
学校に於ける傷病児童に関する一考察
個性教育と鼻疾患との関係
鼻出血の原因とその手当
学童トラコーマの治療につきて
失明の原因とその予防法
学童の胃腸障碍対策に就ての私見
学校に於ける耳鼻咽喉科疾患の看護
我が国に於ける児童白癩病の分布に就て
運動機能障碍児童の調査
小学校児童の検便並に蛔虫駆除成績につきて
颱風に由来する京都市学童の傷害に就て
小学校児童の死亡に関する調査

(環境・生活・教育)

学校建築物の営繕並に保全に関する件
映写会場の換気法
本校の推奨せんとする照明の標準
教室の換気に関する調査
教室内空気に就て
教室の照明に関する調査
教室内の伝染とその予防
健康劇「うさ吉の竈
家庭訪問につきて
学校清潔デーにつきて
開放学級の概要
ウオシントン小学校に於ける開放学級の実際
千里山林間学舎の効果
人工太陽燈につきて
非常災害に対する教養に関する件
家庭に於ける学童の机と腰掛
養護上より見たる休憩と休暇に就いて
高原保養施設に就て
臨海保養学童の開設
満洲学校診療所の概況
時局に処する国民の覚悟
学校の夏休みは如何に過ごすべきか
児童の家庭に於ける生活に就て
板書の読字力につきて
生れつきと育ち

(特別支援教育など)

特別学級の施設に就て
精神薄弱児と遺尿症
精神薄弱児童につきて
不具児童に関する調査
不就学、免除猶予、児童に関する調査
吃音児童に関する調査
脊柱異常児に関する調査
扶養学級の設置
虚弱体質の成因につきて
身体虚弱なる生徒児童の体質改善に関し留意す
べき事項
虚弱児童の分類
学校衛生より見たる虚弱児童
虚弱児童に「ポリタミン」補給成績
虚弱児童に対する肝油使用の経験
虚弱児童健康増進法の試み
虚弱児童の取扱につきて
虚弱児童の社会的保護に就て
虚弱児童の睡眠に関する調査
結核予防としての虚弱児童養護施設計画につきて
虚弱児童養護施設としての林間学校につきて

要監察児童の養護
養護学級の組織に就て
養護学級の経営につきて
養護学級の普及方策につきて

(各種大会・講習会・組織など)

文部省主催看護婦講習会／学校衛生講習会／小
学校養護施設講習会／中等学校保健施設講習
会／虚弱児童養護施設講習会
文部省学校看護婦講習会／地方学校衛生講習会
／学校衛生婦講習会／学校衛生指定視察協
議会／地方学校衛生会／体育展覧会／学校給食
協議会
学校看護婦協議会／学校看護婦執務視察会
学校衛生表彰会／学校衛生調査会／学校衛生技
師会議
日本看護婦協会
日赤婦人衛生展覧会
学校看護婦会——岐阜県・岐阜市・広島県・滋賀県・
福岡県・埼玉県
学校看護婦講習会——東京市・大分県・静岡県・
埼玉県・佐賀県・広島県・岩手県・秋田県・奥市・
広島市・島根県・鳥取県・京都市・名古屋市
学校看護婦協会——広島県・岐阜市・北海道・石
川県・福岡市・静岡県・佐賀県・山口県・三重県
学校看護婦協議会——岐阜県・静岡県・大阪府・
埼玉県・滋賀県・奈良県
全国学校看護婦大会
全国学校衛生婦職制促進聯盟
全国学校衛生婦大会
学校衛生視察協議会
衛生教育研究大会
全国聯合学校衛生会
全日本健康児童表彰会
全国小学校校長大会
全国小学校校長会議
学校栄養講習会
日本聯合学校歯科医学会
綜合学校歯科衛生講習会
学校歯科医講習会
精神衛生展覧会
精神薄弱児童養護施設講習会
結核予防協議会
結核予防看護婦講習会
学校建築設備協議会
日本衛生童話協議会
万国看護婦大会／万国看護婦会議
C・E・ターナー教授招聘準備委員会
……

本文見本
(縮小)



学校看護婦の勤務

文部省学校衛生官 大西 永次郎

はしがき

学校衛生は、教育に伴ふ衛生であり、その目的とするところは、素より児童の健康保全とその増進とにあるは勿論であるが、これを實施する場所には全く教育的空氣の溢れてゐる學校であり、その方法は教育的手段である訓育と養護とによる場合が多く、且つ衛生的習慣の養成といふ徳育的方面も考慮せなければならぬのであるから、其處には、從來考へて居つた一般看護事業と異つた別のも重要な任務を爲すもので、治療に關する處置

天地、新しい世界が拓けてゐる譯で、藥の香の高い藥局、患者のうめき聲の洩れる病室での仕事に馴れて来た皆様にとつては、異様の感じの誇くもないのも御尤の次第である。事實、從來看護婦としての業務の對象は、病床に横つてゐる病者であり、疾病の治療、療養の補助がその本務であつたのに對し、学校看護婦としての職務の相手は、日々學校に通學し、勉學をその日課としてゐる健康なる児童であつて、健康の保護と保健的訓練が尤も重要な任務を爲すもので、治療に關する處置

— 18 —

養護 (創刊号・昭和3年11月) より

養護 (第2卷第2号・昭和4年2月) より



著 類

私の追懷

学校看護婦として過去二十餘年間の……

岐阜市京町小學校
学校看護婦 廣 瀬 ま す

廣瀬様は、先年文部省から学校看護事業の調査に参りました時も、岐阜市における精勵府宮二十餘年の御経験と御成績を承りまして、ほんとに私達を感激させられました方です。昨年の御火禮に際して、同様の御事から、学校衛生の功勞者として、公の表彰を受けられたのも素より偶然ではなかつたのです。いま同女士、二十餘年にわたる御業績を綴つて、私の手許に寄せられたのですが、全頁を通して一言一句に、女士が眞情が其の儘流露され、創業の苦心と開拓の愉快とが交り御感想の間に交錯して、私達をして涙なくしては讀み終ることを得ませんでした。誠に学校看護に従事せらるゝ後進諸嬢にとつて良い教訓、見逃すことのできなない資料であります。特に皆様の御精讀を煩はして已みませぬ。(水)

— 18 —

「養護」を御送附下さいます毎に、諸先生方の御高設殊に大西先生の親にもまさる温き御指導の御言葉には、いつもながら涙を流して拜讀して居

ります。また皆様の御目ざましい御活動振りを拜讀する毎に、過去二十餘年の問學校看護婦として勤めさせて頂きました私の、不行届の數々が、次から次へと思ひ出されて、轉た感慨無量でござ



著 類

學童保健に對する世界的協力

(一九三七年八月、世界教育會議學校衛生部東京會議に於て)

委員長、マサチューセツツ理工大學生物學・公衆衛生學教授

シー・イー・ターナー

余は種々の事情により東京會議に出席し得ざることを深く遺憾とする。余は一昨年オックスフォードの會議に引續き、學校衛生部の事業として世界旅行を致したる所、多くの知己を得、喜んでゐる次第であるが、茲に此の機に於て親交を新にすることは特に欣快とする所である。諸君の國々に於て諸君の施設されつゝある光輝ある學校衛生事業は素晴らしい要素と簡人的業績とを具備して居るが、夫等は此の學校衛生部會において注意を喚起し、それが各國の代表により討論されることを希望するものである。今回の會議の御主人側の日本人は、親切心に富み且つ最も興味ある學校衛生プログラムを遂行されつゝあるので、本會議に於ては特に此の點に注意されんことを希望する。

— 23 —

学校における
保健・衛生・施設・制度、
子どもの健康・心・教育、
医療・看護・福祉など
実情を生き生きと伝える
記事多数収載

学童養護 (第10卷第9号・昭和12年9月) より

雑誌「養護」の時代と世界

学校の中で学校看護婦はどう生きたか

編集 瀧澤利行・七木田文彦



A5判・上製・約400頁
(2015年3月刊)

はじめに(抄)

本書は、雑誌「養護」「学童養護」の複刻にともなう、当該雑誌がもつ特質とそれが発刊された時代背景のもとで、その雑誌の購読者として想定されていた学校看護婦が、どのように自らの職と生を生きたかを雑誌「養護」「学童養護」の論説や記事の中に探り、その他の資料を補いながら、学校看護婦の生きた様相を描き出すことをめざした書である。

本書は、雑誌「養護」「学童養護」の解題という性格をもつが、記事解題という性格を越えて、日本における学校看護婦の成立からその後身といえる養護訓導の成立までを視野に収めた太平洋戦争終戦前までの学校看護の変遷を記述した書としての性格も併せ持つ。

学校看護婦の自立がどのような社会的基底のもとでなされようとしたのかについては、学校看護や養護の本質を議論する上でも欠くことのできない要素である。本書では、解題の範囲を越えて、そうした今後の開拓が期待される養護教諭の社会的研究にも幾分か素地を築き得るような内容にすることに意を用いた。

〔内容〕

はじめに

序章

第一章 学校衛生(学校保健)の成立と学校看護

第一節 学校衛生の発祥と学校看護の成立

第二節 西欧の学校看護婦制度

第三節 近代日本における学校衛生の成立と学校看護婦

第四節 学校衛生の研究動向

第五節 学校衛生に関する研究団体

第六節 学校衛生関係職員の活動

第七節 近代日本における学校看護婦の登場

第八節 学校看護婦の展開

第二章 帝国学校衛生会の設立と看護部

第一節 大正期の民間団体による学校衛生運動

第二節 帝国学校衛生会設立の経緯

第三節 帝国学校衛生会の組織と運営体制

第四節 事業計画および事業の内容

第三章 帝国学校衛生会看護部の設置とその活動

第一節 看護部設置の留意

第二節 看護部の活動

第三節 文部省訓令「学校看護婦ニ関スル件」の公布

第四節 「養護婦」制度法制化の動向と看護部

第五節 国民学校令における養護訓導制度確立

第六節 なぜ、雑誌「養護」だったか

第四章 雑誌「養護」「学童養護」の中の学校看護婦

第一節 一九二〇—一九三〇年代における学校看護婦の子ども観

第二節 学校診療所の展開と衛生室の誕生

第三節 「養護」の語られ方—意味内容について—

第五章 養護訓導の誕生と量的拡大過程

第一節 戦時下文部省の養護訓導設置計画

第二節 直轄諸学校(師範学校附属国民学校)における養護訓導設置の実態

第三節 養護訓導の誕生

結章 時代の中の学校看護婦

あとがき／(別巻)索引

雑誌「養護」「学童養護」

総目次

執筆者別記事一覧

索引(人名・機関名・事項)

(執筆)

瀧澤利行—はじめに、序章、第一〜三章、結章、あとがき

竹下智美—第四章第一、二節

七木田文彦—第四章第三節、第五章

雑誌『養護／学童養護』

全9巻
別巻1

復刻版編集 瀧澤利行・七木田文彦（大空社 2014-15 刊）

学校における 保健・衛生・施設・施策・制度
子どもの 健康・身体・心
〈養護教諭〉 看護・医療・福祉と〈教育〉

いま、喫緊の課題に大きな示唆が与えられる！



A5判・上製・総約5700頁

教育学部（教員養成課程）
医学部
看護学部
保健学部
薬学部
歯学部
体育学部
スポーツ・健康学部
家政学部
生活科学部
子ども学部
養護教諭養成
学校・児童教育
医学・医療
福祉・看護・保健学
歯学・薬学
医療工学
栄養学・食物学
家政学
健康科学
体育学・スポーツ科学
人間科学
心理学
特別支援教育
学校施設・環境
教育行政・法規
子ども学
教育学
および
各分野の歴史研究

全9巻・別巻1 978-4-283-01021-5 揃定価(本体208,600円+税)

第1回配本(第1～4巻)	978-4-283-01022-2	揃定価(本体90,000円+税)
第2回配本(第5～9巻)	978-4-283-01023-9	揃定価(本体110,000円+税)
第3回配本(別巻)	978-4-283-01024-6	定価(本体8,600円+税)

全巻揃 残部数組

2025年4月

*書店では扱っておりません。お問い合わせ、お申し込みは下記へ。(専売)



パンセ
学術図書販売(株)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-1-4 オフィス下山手 3B

TEL 078-945-7835 FAX 078-945-7886



0120-518-521

E-Mail: contact@tosho-pensee.com <https://www.tosho-pensee.com>